

主体的学習を

総合科学部長 天野 實

新入生諸君、入学おめでとう。諸君はどんな理由で広島大学を受験し、入学してきたのであろうか。高学歴社会へのパスポート取得のためか、入試センター試験の得点による安全圏の大学学部だからなのだろうか。いずれにせよ世界が今までになく激変している1991年に諸君は広島大学へ入学し、今後4年間を広島市または東広島市で青春時代の大学生活を送るわけである。ヒロシマ、平和の大切さを実感として味わう意味でも、入学後早い機会に「平和記念館」を訪れてもらいたい。湾岸戦争の終結、戦後処理、平和維持活動など身近に体験した出来事を地球レベルで全人類の問題として考え生活してもらいたいものだ。

我が国の高等教育はどうあるべきかについていろいろな議論が各方面で行われている。去る2月8日には大学審議会は「大学教育の改善」等の答申を文部大臣に対して行った。具体的にはカリキュラムの弾力化、自由化を打出している。一般教育（教養課程）の担当部局である我が総合科学部ではなぜ第二次大戦後我が国の高等教育に教養課程を置いたのか、その原点に思いを致し更に充実した一般教育を行うつもりである。広島大学は単科の専門学校ではない。国立の総合大学であり、日本における重点大学の一つである。広島大学で学び卒業して行く人間は将来日本国のために重要な仕事をしてもらわねばならない。このような学生には将来いかなる職業に従事するにせよまず良識ある人間であり、人生のいかなる問題に直面しても正しい認識判断ができることが必要である。そして民主社会の

一員として貢献できる人間であることが大切である。専門バカにならないで、自然科学系の学生は人文社会科学の基礎的素養を、人文社会学系の学生は自然科学系の基本的知識の学習をしっかりともらいたい。若い青春時代に幅広い勉強をすることが将来の諸君の人間としての幅の広さを決定するに思われる。

大学における勉学のしかたはほとんどすべてが学生の自主性にまかされている。楽勝科目のみで卒業に必要な単位数合せも可能であろう。しかし自ら問い、自らを考え、自ら学び常に問題意識をもって主体的に学習することが肝要である。自分の研究してきたことや学問分野の未解決の問題、それに対する研究のしかたなどを話してくれる先生達はどちらかといえばきびしい授業をされるであろう。自分のやっている学問はこんなにもおもしろいものであり楽しいものであり、大切なものであると学生に話してくれるであろう。孔子の言葉に次のようなものがある。「知るものは好むものにかなわない。好むものは楽しむものにかなわない」学問の楽しさを大学で味わってもらいたい。楽しみを味わえるようになるためには必要な基礎的学力が必要であろう。基礎的学力修得の苦しみを早く終えて学問の楽しさを少しでも味わう大学生活を送ってもらいたいものである。

どうか有意義な大学生活を送り、明日の日本を担うに足る人間に成長してくれることを期待している。新入生諸君の今後の絶えざる主体的学習を切に希望する。